

# 日本テスト学会第 19 回大会 開催のご案内

## 「社会の期待に応えるテスト学」

新型コロナウイルスがもたらす深刻な影響は 2021 年 4 月の段階において、まだどのように収束するのか予測できません。テスト学会大会もその影響をもろに受け、昨年度、桜美林大学で計画されていた第 18 回大会は中止のやむなきに至りました。また、今年度も当初は、桜美林大学での開催の実現を目指しましたが、最終的にはオンライン大会とすることが決まりました。

新型コロナにどう対処するかについて様々な意見が飛び交いましたが、マスコミをにぎわす議論には、テストに関する専門的知識に基盤を持たない議論があるように見受けられます。たとえば、PCR 検査や抗体検査の精度を知らせる指標は、感染者を正しく陽性と診断する率を感度、感染していないものを正しく陰性と判断する率を特異度といますが、その評価値が周知されていないようです。また、陽性と診断されたアスリートが再検査をすると陰性だったこともニュースになりました。このような問題は、信頼性や妥当性の問題と関連しており、テスト理論の観点から議論し、発言すべきであると思います。また、PCR 検査や抗体検査をどのような目的において実施するのが適切であるかを論じることも妥当性に関する議論の範疇にあります。

コロナ禍は大学入試、公務員試験などの公的な試験、また、企業の採用試験においても、リモート試験が必要だという認識を高めました。テスト学会の会員にとっては、コロナ禍にかかわらず、CBT や IBT が必要であるという認識を共有していることと思いますが、テスト学会には、それらのテストングの技術の質を高め、広く提供していくことに貢献することが求められるでしょう。

本大会のメインテーマは、「社会の期待に応えるテスト学」です。コロナ禍がもたらす問題を解決することを含む、現代社会が抱える課題を解決するための理論的積み重ねと実際の解決法を目指す大会したいと思います。本大会では、2 つのシンポジウムが企画されています。1 つ目は、公開シンポジウムを南風原理事長自らが企画されています。大学入試も共通テスト導入に伴い大きな変化がありました。特に、英語に関する入試は混乱いたしました。このことについて、多角的に検討するシンポジウムです。このシンポジウムは関心を持つ方が多いことを考慮し、公開されます。2 つ目は、研究委員会が企画するテストングの安全な運用や維持に関するシンポジウムです。これら 2 つのシンポジウムはリアルタイムで、9 月 25 日に開催されます。社会の抱える問題の解決にはテスト学が持つ知識が正しく伝えられることが必要です。このことを念頭に、実行委員会企画として、会期中の 10 日間、参加者が自由に視聴できる 8 つの録画講演を企画しました。これらの録画講演は、テストングに関する基本の知識から始まり、わかりやすいことを心がけます。先端的な研究の将来にも言及されるので、難解な点もあるかもしれません。しかし、参加者のそれぞれが、必要とされる部分を学ぶことで十分であり、難解な部分は当面割愛してもよいと考えます。

本大会はオンライン大会となりますが、実行委員会としては、オンラインの特徴を活かし、これまで、テスト学会と縁のなかった人たちにもご参加いただき、テスト学の必要性を認識していただくことを目指して、努力したいと考えています。ぜひ、テスト学会大会に参加していただくようお願い申し上げます。

日本テスト学会第 19 回大会実行委員長  
慶應義塾大学訪問教授 繁樹算男

## 1. 開催方法と日程

本大会は講演・質疑応答を含め全てオンラインで実施します。シンポジウムと企画セッションは Zoom ウェビナーを用いたリアルタイム配信として実施し、その他のセッション（一般研究発表と実行委員会企画録画講演）は抄録原稿と講演動画を一定期間大会ウェブサイト上で公開するオンデマンド形式で実施します（ただし、一般研究発表の講演動画掲載は任意です）。リアルタイム配信以外の発表に対する質疑応答は、会期中にオンライン・非同期形式で実施する予定です（実施方法は現在検討中）。各種日程は以下の通りです。

- リアルタイム配信日 : 2021年9月25日（土）
- 抄録原稿・講演動画公開期間 : 2021年9月17日（金）～26日（日）（10日間）
- 質疑応答期間 : 2021年9月17日（金）～26日（日）（10日間）

## 2. 内容

### 2.1. シンポジウム

公開シンポジウム1件と研究委員会企画シンポジウム1件を予定しています。公開シンポジウムのみ、参加費無料でご参加いただけます。

#### 【公開シンポジウム】大学入試の「英語」はどこに向かうのか

センター試験から大学入学共通テストへの移行、そして「大学入試のあり方に関する検討会議」の提言について当事者の方から報告をいただいて討論し、これからの英語入試の方向性を考える。

企画・司会 南風原 朝和（東京大学／広尾学園中学校・高等学校）

話題提供者 大津 起夫（大学入試センター）、渡部 良典（上智大学）、  
阿部 公彦（東京大学）、松井 孝志（私立高校非常勤講師）

開催方法 リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程 2021年9月25日（土）

#### 【研究委員会企画シンポジウム】安全なテスト運用

テストに関わる研究者・実務家にとって、テストを安全に運用・維持していくための手続きや経験則の構築は、テストを開発することと同等に重要である。本企画ではテスト開発に関わる国内の実務家・研究者より、安全なテスト運用に寄与する研究成果やノウハウについて話題提供がなされる。

企画 川端 一光（明治学院大学）、研究委員会

司会 鈴木 雅之（横浜国立大学）

話題提供者 上松 慮生（プロメトリック株式会社）、  
仁田 光彦（リクルートマネジメントソリューションズ）、  
野上 康子（医療系大学間共用試験実施評価機構）、松本 健成（株式会社 EduLab）

開催方法 リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程 2021年9月25日（土）

## 2.2. 実行委員会企画録画講演：テストイングの現状と将来展望

Lord and Novick 著の“Statistical Theories of Mental Test Scores”を手掛かりに、そこから現代のテスト理論と技法はどのような進歩を遂げたのか、また、それを物差しにして、将来の理論的技術的發展を展望するために8つの録画講演を用意し、視聴する参加者とともに考える。

企画 繁樹 算男（慶應義塾大学）

講演者 植野 真臣（電気通信大学）、宇都 雅輝（電気通信大学）、岡田 謙介（東京大学）、加藤 健太郎（ベネッセ教育総合研究所）、黒田 美保（帝京大学）、繁樹 算男（慶應義塾大学）、二村 英幸（元文教大学）、光永 悠彦（名古屋大学）

開催方法 講演動画配信

動画公開期間 2021年9月17日（金）～26日（日）

## 2.3. 一般研究発表

<発表形式>

- 抄録原稿を大会ウェブサイト上に2021年9月17日（金）～26日（日）の10日間公開することで発表とします。なお、原稿は大会参加者のみが閲覧できる限定ページ上に公開されます。
- 公式発表として認められるためには、「発表者のうち少なくとも1名は本学会会員であること」と「抄録原稿を提出すること」の2つの条件を満たす必要があります。
- 希望者は抄録原稿に加えて講演動画も提出することが可能です。提出された動画は、大会サイト上で抄録原稿とともに大会参加者に限定公開します。動画の公開にはVimeoの使用を予定しています。講演動画は15分程度としてください。動画の作成はZoomなどを利用して行なうことができます。なお、大会実行委員会では動画作成に関するサポートはできないことをご了承ください。
- 抄録原稿の提出は事前に参加申し込みと一般発表申し込みを済ませていただいた上で、7月30日（金）までに大会ウェブサイト上の専用フォームからご提出ください。締め切りの延長はありませんので締め切り厳守をお願いします。講演動画の掲載も希望する方は、7月30日（金）までに大会ウェブサイト上の専用フォームから動画ファイルをご提出ください。動画ファイルの形式や解像度などの詳細は、追って大会ウェブサイト上に公開します。

<質疑応答>

一般発表に関する質疑応答は抄録原稿公開期間中にオンライン・非同期形式で行う予定です。プラットフォームとしてはスラック（Slack）の利用を想定しています。詳細が決まりましたら大会ウェブサイト上でお知らせいたします。

## 2.4. 企画セッション

- 企画セッションの発表はZoomウェビナーを利用したリアルタイム配信で実施します。
- 企画セッションのオーガナイザーを希望する方は、2021年5月31日（月）までに、企画の目的・司会者・各研究発表演題と発表者の名前および所属をまとめて、大会事務局（jart2021@jartest.jp）までご連絡ください。指定討論者を置く場合には、その方のお名前も記してください。
- 採否は、応募を受け付けた後10日以内に通知いたします。原稿の提出などの手続きについては、その際にお知らせいたします。

### 3. 大会参加申込み、および一般研究発表の申込み

#### 3.1. 申込み手続き

大会参加、および一般研究発表の申込みは、それぞれの期日（次項参照）までに大会ウェブサイトから行ってください。

#### 3.2. 各種申込み期限

一般研究発表の申込み : 2021年5月24日（月）～6月30日（水）

一般研究発表の抄録原稿提出 : 2021年5月24日（月）～7月30日（金）

大会参加申込み・参加費払込 : 2021年5月24日（月）～8月31日（火）

#### 3.3. 参加費の払込み

大会参加費の払込みは大会ウェブサイト上で参加申込みを済ませた上で、2021年8月31日（火）までにお済ませください。ゆうちょ銀行・郵便局から送金する場合は後日郵送する払込取扱票あるいは郵便局備え付けの払込取扱票を、他の金融機関から振り込まれる場合は金融機関備え付けの振込用紙を用いて、以下の口座にご送金ください。いずれの場合も手数料は依頼人負担となりますのでご了承ください。

<ゆうちょ銀行・郵便局から>

口座番号 : 00190-6-451728

口座名称 : 日本テスト学会

<他の金融機関から>

店名(店番) : 〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

種目・口座番号 : 当座・0451728

口座名義 : 日本テスト学会

正会員・法人会員	準会員・学生	非会員（学生除く）
2,000 円	1,000 円	3,000 円

<払込みに関するお願いと注意>

- 振込前に大会ウェブサイトから大会参加申込を行ってください。
- 必ず参加登録者名で払い込んでください（所属機関等からの振り込みの際は特にご注意ください）。
- 利用明細は領収書の代わりとして必ず保管してください。

### 4. 抄録原稿の作成・送付

抄録原稿のご作成・ご提出にあたっては「抄録作成要領」を必ずご参照ください。

### 5. 大会プログラム・論文抄録集

論文抄録集は2021年9月16日（木）までにご指定の住所に郵送いたします。大会ウェブサイト上の参加申し込みシステムに郵送先住所の入力欄がございますので、受け取りを希望するご住所をご記入ください。

### 6. 第19回大会事務局連絡先

日本テスト学会第19回大会実行委員会 E-mail : [jart2021@jartest.jp](mailto:jart2021@jartest.jp)

# 抄録作成要領

原稿提出締め切り 2021年7月30日（金）

抄録原稿はそのまま縮小してオフセット印刷し、論文抄録集に掲載されます。以下の要領に従って原稿を作成されるようお願い致します。原稿は、事前に発表申込みを済ませた上で、大会ウェブサイトの所定のフォームから提出してください。なお、原稿に不備がある場合は、後日お問い合わせすることがございます。

## 抄録原稿作成要領

発表1題につき2頁（本文約2,800字）としますが、さらに2頁に限り超過を認めます。超過の場合は4頁になるように（余白頁を生じないように）してください。A4判用紙を用い、上下に各3cm、左右に各2.5cmの余白を設けてください。発表題目以外は10-12ポイントの文字サイズとします。レイアウトは以下のようにしてください。

### 1 ページ目

- ・ 1行目：発表題目。大きめの文字サイズ（16ポイント程度）で中央に書く
- ・ 2行目：空行
- ・ 3-4行目：発表者の氏名と所属  
所属が大学の場合は、学部名（大学院の場合は研究科名）まで書く。連名発表者で所属が異なる場合は、\* や \*\* などの記号で対応を明確にする。2行で書ききれないときは、5行目以降を適宜繰り下げる。
- ・ 5-6行目：空行
- ・ 7行目以降：本文

### 2 ページ目以降

- ・ 1行目より本文を書く。
- ・ 原稿末尾に連絡先（E-mail アドレス 会員番号）を記入することができる。

## 大会 HP の発表申込みフォームによる抄録原稿の送付方法・注意事項

- (1) 原則としてPDF形式で原稿を作成し、大会ウェブサイトの提出フォームを通じて送信してください。Microsoft Word形式の原稿も受け付けますが、印刷がずれる可能性があることをご承知おきください。LaTeX文書は、Adobe Acrobat や dvipdfm などのソフトウェアでPDF形式に変換して提出してください。
- (2) 図表はあらかじめ電子的に貼り付け、別途作業の必要がないようにしてください。
- (3) 原稿にページ番号は記入しないでください。
- (4) 特殊文字（外字など）は印字されないことがありますので、使用しないでください。
- (5) 本文および図表は白黒印刷されます。
- (6) 原稿は大会ウェブサイトの原稿提出フォームから、発表申込みを期日までに済まされた上でお送りください。